

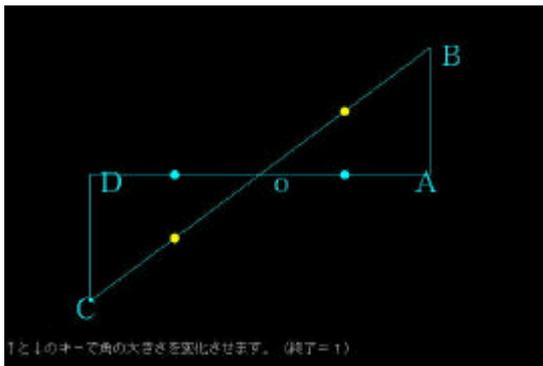


おのおのの midpoint で交わる2つの線分について、常に言えそうなことを発見するには

24140 三角形の合同
(角の大きさが変化)

2つの線分 AD , BC がおのおのの midpoint O で交わるとき, $AB = DC$, $\angle B = \angle C$, $\angle A = \angle D$ になりそうなことに気づかせることができるソフトである。

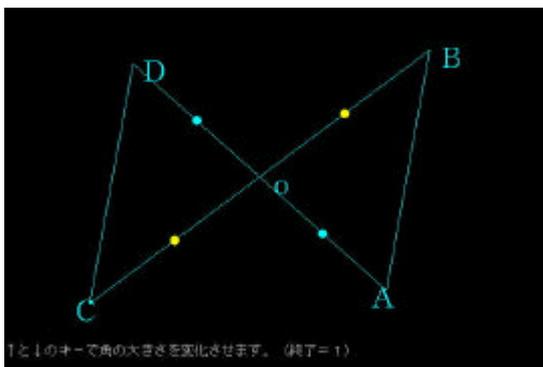
初期画面



$AB = CD$ を説明するために等しい角や辺を発見し、三角形の合同条件を使って説明できそうだという見通しをもたせる。

AD を O を中心に回転させていくとき、常に等しくなりそうなところを考えさせる。

キーで直線を回転させる。



・ $AB = CD$, $\angle B = \angle C$, $\angle A = \angle D$ になりそうなことを確認する。

24130 の前に使用する。

ポイント

常に言えそうな図形の性質を筋道立てて説明するために、三角形の合同条件を利用すればよいことに気づかせたい。